

令和4年度 総括 事業報告・決算報告

1. 事業報告概要

法人本部

1. 年度方針・理念等

～ありのままのあなたと いつも向き合い、支え合い のぞみに向かって わを広げ～
住みよい環境づくりを進めます

2. 重点課題

- ・法人の中期経営計画(新施設計画、人事・育成制度、環境整備)実現に向けた取組推進
- ・法人WLB推進ビジョン～最高の職場環境が、最高の利用者サービスへ～実現のための取組推進
- ・採用活動の強化、また法人の魅力発信のための広報活動強化等、採用に直結する取り組みの検討
- ・ICT化や事務業務見直しによる標準化・効率化及び働き方改革の推進

3. 総評

第7・8波の新型コロナウイルス感染拡大により、本年度も大幅な活動制限を取らざるを得ない厳しい環境でしたが、ハイリスク施設を運営する法人として最大限の注意を払い、感染拡大防止対策に徹底して取り組みました。また、世界的なエネルギー価格高騰や物価上昇は、様々な費用増額の影響を及ぼしています。収支ひっ迫の状況にもなりかねませんので、財務面を注視して法人経営を進めました。

本年度、新たに東京都「育業応援企業」及び「心のバリアフリーサポート企業」登録が認定されました。今後もWLB推進ビジョン実現に向けた働き方改革や環境改善に取り組むとともに、採用活動にも結び付けながら、福祉業界全体の魅力発信の一翼を担えるよう努めてまいります。

一方、法人本部事務局においては理事長・常務理事の統括を受け、関連する法律および通達に従い内外業務の実務処理を行うと共に、法改正等に伴う諸規定の変更を実施しました。また、前年度に試行的に行った法人本部・大谷田障がい福祉施設との事務体制一体化を本格実施しました。

足立あかしあ園

1. 年度方針・理念等

～人を大切にし、利用者と共に成長する施設づくりを行います～
将来に向けた今できる取り組みの実現

2. 重点課題

- ・接遇・サービスの質の向上・自己選択・自己決定の実践とやりがい・いきがいが得られるサービスの提供
- ・利用者視点で行動する職員の意識・風土の醸成
- ・利用者出席率3%向上
- ・職員が組織の目標・方向性・考え方を理解し、連携・協力しながらチームとしての実践力の向上

3. 総評

本年度は、施設が職員に求める利用者を尊重する姿勢についての研修の実施、並びに日々の生活場面や将来へ向けた取り組みを含めた個別支援計画の提示と実践を重点的に行いました。また、家族と離れて地域グループホームへ自ら選んで入居された利用者について、施設として長年取り組んできたものが成果に繋がり、職員自身の自信にも結び付きました。

施設業務全般では支援員間の連携、問題意識・責任意識の向上のために研修や業務水準のチェックを行い、改めて個々の支援員の到達段階を確認しました。特に支援員間の連携においては、情報共有の取り組みについて検討し徹底を図りました。利用者の出席率については0.5%微増しましたが、次年度も引き続き出席率向上の取り組みを行ってまいります。

綾瀬あかしあ園

1. 年度方針・理念等

～みんなでほっといっしょにいきいきと～

安心・信頼を大切に 共に考え学び お互いの自己実現を目指します

2. 重点課題

- ・利用者自身の生活環境の変化を捉えた支援の強化と共に事故防止に努める
- ・活動内容・実施方法の整理やマニュアルの整備等、業務整理・標準化の推進
- ・カフェ「ふおらん」の施設全体での一体運営と活性化
- ・地域の一員としての役割を担い、行動し、地域共生を推進する

3. 総評

個別支援計画に基づいたサービス提供を実施すると共に、代替的サービスである在宅支援も併せた出席率向上の取り組みに努めました。新型コロナウイルスの感染対策を実施のうで全体連絡会を開催し、施設からの伝達事項や、意見交換を行う場を設けました。また、事故発生時の対策会議や事故・ヒヤリハットの傾向を踏まえた危険予知トレーニング等の事故予防の実施を行うと共に、年度の振り返りを行い、改善できた内容、更に努力が必要な内容等の確認を行いました。

地域公益的活動として、参加者のニーズに合わせたフードパントリーの実施を行いました。

ふおらんでは店内販売に加え、新商品の販売や外部出店に参加し売上の増加を図り、利用者のニーズに合わせた対応やリモートで販売を体感して頂く取り組みも行いました。

舎人あかしあ園

1. 年度方針・理念等

～一人ひとりを大切に～

一人ひとりの歴史・思い・生活・個性を大切にして、夢や希望に向けた支援を行います

2. 重点課題

- ・グループの特色を活かしながら、個々のニーズにあわせたサービスの提供
- ・前年度比+5%の出席率向上
- ・安心・安全な介助方法の確立
- ・地域交流を目的とした「ふおらん舎人店」の更なる活性化

3. 総評

本年度は、通所バスの運行便単位で利用者のグループを再編し、その中で利用者個々の希望や特性に応じた活動を実施しました。

活動メニューに関しても、利用者の希望と選択の幅を増やし、柔軟に対応できるような職員体制を構築しました。運行便が活動時間中に重ならないように時程を組んだ事で、活動時間が長くなり、内容の濃い活動を展開できました。

重点課題である出席率については78%と前年度と比較し向上したものの、引き続きの課題となりました。次年度以降も出席率の向上に取り組んでまいります。

「ふおらん舎人店」は新型コロナウイルスの感染状況から、本年度の営業はできませんでした。

花畑あかしあ園

1. 年度方針・理念等

～らしく！たのしく！つながる”わ”～

一人ひとりが自分らしく過ごせるように地域、家族、仲間とのつながりを大切にします。

2. 重点課題

- ・設立2年目として活動等の発展、見直しを推進する
- ・充実した活動を提供し、出席率の向上に繋げる
- ・目的の明確化と情報共有を図り、チームワーク力の強化と支援力の向上を目指す
- ・虐待防止やリスクマネジメント、感染症等への適切な対応及び対策の強化

3. 総評

本年度は事業の更なる充実を図るため、規程やマニュアル等を再確認し、社会資源を活用した活動の導入や個別活動等に意欲的に取り組むと共に、利用者個々に合わせた施設独自の取組みを発展させました。また、グループごとに目標と課題を明確にし、具体的な支援の方向性を全職員で一致させ、チームワーク強化に努めました。利用者の出席率自体は減少しましたが、退所者の発生が要因であり、それを除けば前年度と同等の出席率を維持しています。

虐待防止やリスクマネジメントにおいては、不適切な接遇に関する研修や危険予知トレーニングを通じ、支援員一人ひとりの虐待防止・リスクマネジメントに対する感度を高めました。

カフェ「ふおらんHANAHATA」ではメニューを拡充し、感染症対策期間を除き安定した運営ができました。

竹の塚あかしあの杜

1. 年度方針・理念等

『一人ひとりにとって“価値”ある一日を』

私たちは、一日いちにちを大切に、全力で、前向きに、誠実に取り組みます

2. 重点課題

- ・安心・安全な医療的ケアサービスの提供と日中活動支援の両立
- ・部署間連携と協働体制の推進
- ・施設入所支援における業務効率向上のための業務改善とスリム化
- ・利用者出席率向上と感染症対策の強化

3. 総評

2名の入所利用者が施設利用中に亡くなり、緊急対応の在り方が課題として浮き彫りとなりました。既に救急要請の仕組みを策定しましたが、今後、訓練の定期的な実施等、緊急時に備えて体制を強化してまいります。業務効率向上につきましては、e-ラーニングを活用した研修を推進し、支援力向上の一助とするとともに東京都「障害者支援施設デジタル技術等活用支援事業」の交付決定を受け、見守り支援機器・情報共有機器・記録作成支援ソフト等、デジタル機器の導入・設置を行いました。

新型コロナウイルスの感染対策に取り組みましたが、7・9・1月に集団感染発生に至り、利用者・職員計40名が感染しました。その後、「新型コロナウイルス感染防止対策のための専門的相談・支援事業」を受け、専門家の支援を受けて施設内における感染対策の評価・点検・見直しを行いました。

あいのわ支援センター

1. 年度方針・理念等

～あなたらしく生きるために、あなたがホッとできる”場所”を目指します～

【行動指針】1.利用者本位、2.サービス向上と満足度の追求

3.品位、4.職場の雰囲気づくり、5.安全第一

2. 重点課題

- ・理念・行動指針に基づく支援の実施と情報共有の徹底、職員体制の安定化
- ・居宅介護／移動支援／公益事業／特定相談支援事業の体制の再構築、業務の効率化
- ・共同生活援助事業の業務内容等の精査、安定した運営の実施
- ・新型コロナウイルス感染症対策の徹底

3. 総評

本年度も新型コロナウイルス感染症の影響を多大に受け、あいのわ支援センターすべての事業において、事業の停止や縮小等の活動制限を取らざるを得ない状況となり、減収含め大変厳しい年度となりました。11月にはクラスターも発生しましたが、その教訓を活かして今後も感染拡大防止に丁寧に取り組んでまいります。職員体制については、比較的安定はしていたものの、利用者だけでなく職員の年齢層も高くなり、夜間帯の体制確保が難しくなっています。職員間で伝達漏れ等の事故防止のための情報共有の取組みを進めていますが、連携にやや課題が残るため、次年度も継続して取り組んでまいります。

本年度より、居宅介護・重度訪問介護・移動支援の事業統合を行い、一体的運営による効率化に繋がりました。引き続き、ヘルパー確保や更なる効率化による事業発展を進めます。

神明障がい福祉施設

1. 年度方針・理念等

～いちにち一日を大切に～

利用者の自己実現を目指し、安心して通所出来るよう支援します

2. 重点課題

- ・職員の理解力と実践力を促進し、リスク対応に強化した支援力の向上と食を楽しむ給食提供
- ・事業所間やグループ間の枠を超えた連携による安定した質の高いサービス提供と出席率向上
- ・地域への情報発信や地域共生を目指した取り組みの実行
- ・感染症及び防災に関する実践と整備の強化(実践を想定した訓練・備品等の整理整備)

3. 総評

本年度も、新型コロナウイルスの感染状況に応じた感染症対策を講じながら、感染を拡大させることなく、安心して安全に通所していただけるよう環境維持に努めました。

給食を楽しんでいただくために、委託業者と協力して海外の珍しい料理の企画を考え提供しました。リスク対応や虐待防止、防護服着脱訓練等、実際の場面を想定した内部研修の実施により、各職員が実践的且つ広い視野で考え、リスク対応の強化と支援力向上に繋がっています。

施設前掲示板で写真を用いて地域へ情報発信を行いました。また、近隣の学校祭に出店いたしました。地域の公園清掃や古紙回収も継続し、年2回の足立区のゴミゼロ運動にも参加しました。

施設全体での防災訓練や警察のご協力いただき、不審者対応訓練を実施しました。

大谷田障がい福祉施設

1. 年度方針・理念等

～利用者の「働く」「生活」「健康」を支援します～

2. 重点課題

- ・個別支援計画に基づいた支援の徹底
- ・利用者出席率向上
- ・就労支援事業の売上向上及び新規作業の開拓と安定化
- ・安定した生活環境の向上

3. 総評

足立区大谷田就労支援センターでは、新規作業を安定して受注できたことにより年間売上が増加し、就労継続支援B型事業にて前年度の平均工賃を上回ることができました。一方で、生活介護事業は工賃支給対象者の増加に伴い、前年度の平均工賃を下回る結果となりました。また、両事業共に長期欠席者への支援を実施し、数名の利用者の通所が再開となりましたが、長期欠席を継続される方や急な体調不良等で欠席される方も多く、利用者出席率は減少しています。

足立区大谷田ホームでは、関係機関と連携を図りながら支援を実施しました。

施設内の感染防止対策では、基本的な消毒やソーシャルディスタンス等の対策を継続しながら、消毒機器の増設等、改めて感染防止対策の強化・徹底を行いました。